



静岡市 いきものの 散策マップ

高山・市民の森コース

しょくぶつ



● ミズバショウ



湿地に生えるサトイモの仲間。5月頃に大きな白い花を咲かせます。強い毒を持っています。

● タラノキ



春に出る若芽は「タラの芽」と呼ばれ食べられます。8月、枝先に小さな白い花をたくさん咲かせます。

● ミツマタ



枝が三つに分かれているので、こう呼ばれます。和紙の原料になります。3月に白い花が咲き、後に黄色へと変わります。

● ヤブレガサ



若い葉が破れた傘に似ているので、こう呼ばれます。林の中で育ち、7～10月に白っぽい花を咲かせます。

● カキノハグサ



山地の林の中で育ち、5～6月にやや大きな黄色の花を咲かせます。日本にだけ分布する植物です。

● コアジサイ



山地の明るい林の中で、6～7月に淡青色の花を咲かせます。アジサイと違って、ガクの大きな飾り花はありません。

● ヤマジノホトトギス



山地の林のまわりに生えています。8～10月に鳥のホトトギスの胸の柄に似た、白地に紫色の点がある花を咲かせます。

● ツルリンドウ



茎がツル状になるリンドウの仲間です。山地の林の中に生えています。8～9月に紫色をおびた白色の花を咲かせます。

● ホタルブクロ



キキョウの仲間。釣り鐘のような形をした桃色の花を6～7月頃に咲かせます。草原や山地に生えています。

● ノコンギク



山地の林のまわりでよく見られます。9～11月に淡い紫色の花を咲かせます。葉の裏面に短い毛があります。

● オコトラノオ



山地の陽当たりの良い原っぱに生えています。6～7月に虎の尾のような、先が垂れ下がる房状の白い花を咲かせます。

● ヒヨドリバナ



ヒヨドリが山から下りてきて鳴く頃に花が咲くことから、この名前がつきました。8～11月に白い花を咲かせます。

とかげ・かえるの仲間

● ニホンカナヘビ



全長20cmくらいの小さなトカゲで、昆虫などを食べます。山地から低地まで広く分布し、庭先でも見かけます。

● アズマヒキガエル



体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「クッククック」と鳴きます。

● モリアオガエル



体長4～8cmで、暗褐色や緑色をしたカエルです。「ココロ、ココロ」と鳴き、水上の小枝に泡のような卵を産みつけます。

● アカハライモリ



池や田んぼなどで見られ、お腹が赤いので赤腹とも言われます。昆虫やミミズ、他の両生類の卵や幼生を餌とします。

どうぶつ・とり

● ニホンカモシカ



国の特別天然記念物で、昼間でも見かけることがあります。木の皮を食べるので、林業にしばしば被害を与えます。

● イノシシ



雑食性の大型哺乳類で、丈夫な鼻で土を掘り返して、植物の根やミミズなどを食べます。農作物にも深刻な被害を与えます。

● タヌキ



中型の哺乳類で、足が短く、ずんぐりした体つきです。雑食性で、小動物や果実などを食べます。

● ニホンザル



雑食性で果実、植物の種や芽のほか、昆虫なども餌とします。群れを作り、なわばりをもって生活します。

● テン



夏は茶色、冬は黄色の体をしたイタチの仲間です。主に肉食ですが、果実なども食べます。

● ニホンノウサギ



全身は茶色ですが、お腹だけ白い色をしています。主に夜に活動して、葉や芽、枝などを食べます。

● アナグマ



ずんぐりとした体つきのイタチの仲間。昼間活動することもあります。雑食性で昆虫、ミミズ、果実などを食べます。

● ニホンジカ



大型の哺乳類で、オスはツノを持っています。この辺りでは近年数が増えてきて、植物を食い荒らしています。

● ノスリ



カラスより大きなタカ仲間です。山地や人里で1年中見られます。ネズミや小鳥などをつかまえて食べます。

● カケス



ハトくらいの大きさで、山地にすんでいます。「ジエイエイ」と鳴き、ドングリを好んで食べます。

● コゲラ



スズメくらいの大きさで「ギイーギイー」と鳴くキツツキの仲間です。公園など身近な場所でも見られます。

● ヤマガラ



スズメくらいの大きさで、「ツツピーツツピー」と鳴きます。公園などでも見られます。学習能力がとても高いです。

● ウグイス



よく知られた鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、冬には「チャツチャツ」と鳴きます。ヤブの中において姿を見るのは難しいです。

● メジロ



ウグイスに似ていますが、背側は全体的に黄緑色で、眼のまわりが白いのが特徴です。人家の庭先でも見られます。

● ジョウビタキ



スズメより少し小さな鳥で、秋に日本へやってくる渡り鳥です。山地から住宅地で見られ、「ヒツヒツ」と鳴きます。

● ホオジロ



スズメより大きな鳥で、オスは木の上で「チョツピチチュ、チュチュチュ」と鳴きます。耕作地などで見られます。

むし

● ゲンジボタル



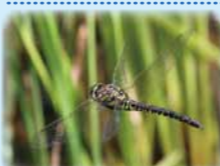
体長2cmほどのホタルで、梅雨の頃に成虫が見られます。幼虫はきれいな川などにすみ、主にカワニナを食べます。

● ネキトンボ



はねを広げると7cmくらいのアカトンボで、はねのつけ根が広く赤色です。水辺の植物が豊かな池のまわりにいます。

● ルリボシヤンマ



はねを広げると8cmくらいのヤンマで、オスはお腹に水色の模様があります。やや寒いところの湿地などにいます。

● ツマグロヒョウモン



1993年頃から急に増え、海岸から山地まで分布を広げています。幼虫はパンジーなどを食べます。

● アサギマダラ



春には南から北へ、夏から秋には北から南へ、2世代かけて移動します。ヒヨドリバナが特に好きです。

● キタテハ



成虫で越冬するチョウです。夏に現れるものは黄褐色をしています。秋のものは赤色で、はねの形も枯葉に似ています。

● チャバナセセリ



イチモンジセセリに似ていますが、白い模様が少ないことで区別できます。秋に数が増え、花によく集まります。

● オオゾウムシ



体長1.2～2.4cmの日本最大のゾウムシです。弱ったマツやスギなどに産卵し、幼虫はそれを食べて育ちます。

アクセス情報



【車でのアクセス】

1. 静岡駅前より国道362号線にて藁科川沿いに進む。
2. 「藁科中学西」交差点を右折、水見色川沿いに進む。
3. 「水見色小学校」を右折、林道を進む。(静岡市街地より約50分)

【バスでのアクセス】

1. 静岡駅前より、しずてつバス「水見色行き(藁科線)」約40分
2. 「水見色小学校前」にて下車、徒歩50分

緊急連絡先

- ・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・ 消防 119番
- ・ 警察 110番

注意事項

- ・ ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- ・ 里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市清流の都創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成25年3月

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!! (ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)